

2022年3月22日

株式会社三菱UFJ銀行
NEXT Logistics Japan 株式会社

三菱UFJ銀行とNEXT Logistics Japanの出資・パートナー契約締結について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一、以下 三菱UFJ銀行）とNEXT Logistics Japan株式会社（社長 ^{うめむら ゆきお}梅村 幸生、以下 NLJ）は、ドライバー不足解消や脱炭素化などの物流業界の課題解決を目的とした出資・パートナー契約（以下 本契約）を締結いたしました。

物流業界においては、少子高齢化、2024年問題に起因した「モノが運べなくなる」社会が着々と近づいてきている状況下、安定した輸送スキームの提供や、CO₂排出量削減による環境課題解決が求められております。その実現に向けて、CASE^[1]技術の進化に伴う自動運転技術や燃料電池型大型トラック等の電動化車両の活用により、物流における効率化・省人化、CO₂低減が加速すると見込まれております。本契約により、社会課題の解決に取り組み、物流と金融の事業価値向上を目指してまいります。

三菱UFJ銀行は、「お客さまと事業リスクを共にし、社会課題の解決に向けた新事業を創出」する事業共創に取り組んでおります。また、「MUFG カーボンニュートラル宣言」に基づいて、お客さまの脱炭素化やイノベーション技術の支援に積極的に取り組んでいます。今後、NLJ および NLJ パートナー企業^[2]との事業共創を通じて、事業価値を高め、物流業界の社会課題解決に貢献してまいります。

NLJ は、業種業態の壁を越えた19社のパートナー企業^[2]とともに、各社の専門的な知見・技術を活用し、「ドライバー不足によりモノが運べなくなる」という社会課題の解決に向けた高効率輸送スキームの構築を進めております。三菱UFJ銀行の有する幅広い顧客基盤・ネットワーク、高度な金融サービスを始めとした各種知見・ノウハウを活用することでエコシステムの構築を推進し、「物流業界の価値向上」の実現に向けて取り組んでまいります。

三菱UFJ銀行とNLJは、想いを一つにするNLJのパートナー各社とともに知見・技術を集結させ、社会課題の解決と事業価値向上に向けた取り組みを一層促進してまいります。

[1] Connected：コネクテッド、Autonomous：自動運転、Shared & Service：シェアリング/サービス、Electric：電動化 4つの技術要素を組み合わせ、安全快適で利便性の高い次世代のモビリティサービスを構築すること

[2]アサヒグループジャパン、江崎グリコ、ギオン、キューソー流通システム、鴻池運輸、澁澤倉庫、鈴与、住友ゴム、摂津倉庫、千代田運輸、トランコム、ニチレイロジグループ、日清食品ホールディングス、日本梱包運輸倉庫、日本製紙物流、日野自動車、ブリヂストン、三菱HCキャピタル、ユーネットランスの19社

